

川床 利用者の声

川床の魅力は、実際に体験してみないと
なかなか分かりません。

川床の利用者の生の声を、
2008年秋・2009年春の
社会実験アンケート調査よりご紹介します。

Comments 自由回答

もっと床が増えたら面白いと思います。
床同士のコミュニケーションができる。
(30代・女性)

東京から来たばかりですが、
これはウケると思いますよ。
(40代・男性)

水の都として相応しい。
大阪でこのようなお店を探していました。
(50代・男性)

京都に行かなくても
大阪の川の良さが感じられて良い時間でした。
是非行きたいと言っている友人が
たくさんいるので常設してほしいです。
(30代・女性)

行き交う船の多さに驚き、川に活気を感じます。
新発見。セヌ川を思い出します。

他のお客さんと話がはずむ。
(50代・男性)

意外と涼しく驚きました。
(30代・女性)

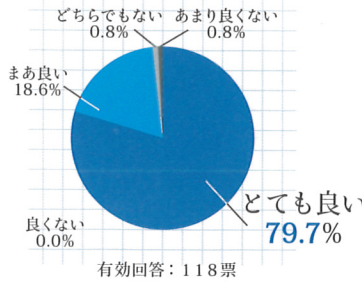
水都でありながら
今までこのような施設がないことが
不思議でした。
(70代以上・男性)

想像以上に大感激でした。
大都会のオトナな静けさ。
(30代・女性)

オーナーさん。がんばれ!
(30代・男性)

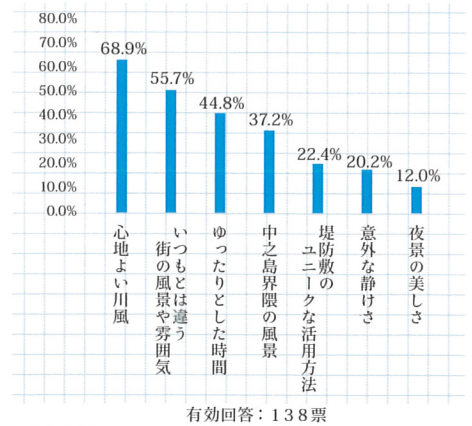
Q 川床を体験してみた感想は?

A ほとんど全員が
「良い」と感じました。



Q 一番新鮮に感じたことは?

A 「心地よい川風」「いつもとは違う街の風景や雰囲気」
など、都心に居ながら意外な自然を発見したこと。



出床 体験談

実際に川床を出した
3店舗に生の声を聞きました。



忠治郎ビル・「てる坊」
山西輝和さん
ビルオーナー・テナント店主



かつて当家はこの地で料理旅館を営んでいました。私自身は5代目になります。昔の我が家の写真を見ると、建物から船に直接乗り降りできたことがわかります。いつかこのように、川とつながった店にしたいと、現在のビルに建替えたときに1階の開閉口を大きく取りました。換気扇の工事にあわせて実験的に川床を出したこともありましたが、まさか常設で川床が出せるようになるとは思っていませんでした。川床ができて、土佐堀川の向こうのビル群に夕陽が沈んでいく様子を見ながら食事を楽しんでもらえるようになりました。北浜ににぎわいを取り戻すため、川床が増えるよう頑張ります。

北浜ゲイトビル
関厚二さん
ビルオーナー



中之島・土佐堀川に臨むオフィスビルを購入したのが5年前。「川沿いの物件なのに、1階のテナント・OUIさんと水辺に距離感がある?何故?テラスが出せたら!」って冗談で店主の井上さんと話していた事が現実になり!しかし、仮設テラスを出してみると、色んな問題(エアコン室外機の熱風問題など)に直面。それをなんとか乗り越えて、どうどう常設のテラスが完成!テラス出店者が増え、水都大阪・北浜テラスが名所になったらえ〜な〜。観光客や道行く人々に北浜テラスを写真で撮ってもらっている光景を夢みて…。

Y'sピア北浜
山根秀宣さん
ビルオーナー



中之島界隈は水と緑が豊富で見晴らしが良く、水都大阪を代表する景観です。これを活かさないのはもったいない。私自身、以前から水辺活用の提言もしてきており、あては無いけど何か実践したいという想いもあって、このビルを取得しました。Y'sピアの1階は、窓が腰高までだったので、足下まで開口してサッシを取り替え、「川床対応」のビルに変えました。実際川床ができると川に行く船からも目立つので、お客さんも船客と手を振り合い、この感動がまた人を呼び、大変賑わいました。喜ぶお客さんを見て、やった甲斐があったなあと思います。

「OUI」
井上浩二さん
テナント店主



まず、お客様(利用者)が喜んでくれることが一番うれしいことです。自然な風を感じ、都会にながらもそう感じさせない素晴らしい空間で、大阪のまちの良さを世の中にアピールすることができます。お店としても付加価値となり、お客様のご来店も増え、お店が活気づきます。テラスを設置するには、問題解決のため、正直余分な費用もかかりました。ビルオーナーさん、周辺の方々のご理解などいろいろクリアしないとけません。しかし、多くの方がバックアップくださり、その苦勞以上のものが得られました。

「十六夜」
畑中正和さん
テナント店主



まずビルオーナーの山根さんに、「1階の川側には川床を作る計画があります。川床はビルのエントランスだとも考えているので、上の階のテナントが利用する際は協力してください」と言われました。うちのほかに何店か候補があったようですが、「川床ってええなあ」と思ったので、「北浜をどう思うか」「自分のお店がどうまちに貢献できるのか」についての想いを伝え、テナントに選んでもらいました。実際に川床をだしてみると、オペレーションは大変ですが、たくさんのお客さんが水辺を楽しんでくれるので、やっぱり嬉しいです。

川床が できるまで

開口部拡大工事

川床に出やすいように、窓を足元までひろげます。ある程度の大きさの窓であれば、階段を付け足すだけで川側に出ることができます。



鉄骨工事

建物と防潮堤の間に、川床の鉄骨をつくります。



仕上げ工事

鉄骨の上に、床や手すりを張ります。

塗装工事

床や手すりに塗装を施します。みんなの手作業でもできます。



完成



何もなかった建物と川のスキマに、川床が誕生!